

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
地理探究	2	2年1類	選択
授業担当者	教科書名		副教材等
****	新詳 地理探究 (帝国書院) 詳解現代地図 最新版 (二宮書店)		プリント等

### 科目の到達目標

- ・現代社会の諸事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる平和で民主的な社会の形成者に必要な公民としての自覚と資質を養う。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地図や地理情報システムなどの読み取りを通して、地球的な視野から地理的事象の空間的な規則性、傾向性や関連する課題の発生要因について理解することで、現代世界の諸事象の地理的認識を深める。	地理的事象の意味や意義・特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。	知識及び技能を獲得し、思考力、判断力、表現力等を身に付けようという姿勢や、よりよい社会の実現を視野に、世界諸地域や日本においてみられる課題を主体的に追究、解決しようとする姿勢を見せ、地理的な課題への多面的・多角的な考察、理解を深める。

### 評価の観点と方法について

定期考査の点数を基準とし、ノートや課題等の提出状況を加味し、総合的に評価する。

※中間考査は実施しません。

	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
学期	4 第1部 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境	・地球内外の力がつくる様々な地表のかたちを知り、その成り立ちを理解する	・地球システムのなかで生きる私たち ・地形の成因と地球表面の起伏 ・地球規模の大地形 ・河川流域と海岸にみられる小地形	授業中の関心・意欲・態度
	5	・気候のしくみを知り、気候の地域性と生業・文化との関わりについて理解する	・気候の成り立ち ・気候と生態系 ・世界の気候区分 ・さまざまな気候帯 ・気候変動と異常気象	
	6	・日本の自然環境について理解する	・日本の地形 ・日本の気候 ・開発に伴う災害と防災・減災の取り組み	ノート提出 期末考査 夏季課題の説明
	7	・様々な環境問題の原因を知り、その解決策について考える	・地球環境問題とは ・さまざまな地球環境問題 ・地球環境問題の解決に向けた取り組み	

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	第2章 資源と産業	・世界の農林水産業について地域の特性を知り、気候や文化との関わりについて理解する	・農業の発達と分布, 農業の地域区分 ・現代世界の農業の現状と課題 ・日本の農業の現状と課題 ・世界と日本の林業, 世界と日本の水産業 ・世界の食糧問題, 日本の食糧問題	夏季課題提出  授業中の関心・意欲・態度
	10		・資源やエネルギーの分布や活用について知るとともに、資源やエネルギーをめぐる課題について考える	・エネルギー資源の種類と利用 ・化石燃料の分布と利用 ・電力の利用 ・鉱山資源の種類と利用 ・資源・エネルギーをめぐる課題 ・日本の資源・エネルギー問題	ノート提出
	11		・世界の工業の成り立ちや立地について知り、グローバル化する工業生産について理解を深める	・工業の発達と種類 ・工業の立地 ・世界の工業地域 ・現代世界の工業の現状と課題 ・工業の知識産業化とスタートアップ企業 ・日本の工業	
	12			・経済発展と第3次産業 ・商業の現状と変化 ・商業以外のさまざまな第3次産業	ノート提出 期末考査
三 学 期	1	第3章 交通・通信と 観光, 貿易	・交通や情報通信の発達について学び、貿易や商業環境の変化について理解する	・世界を結ぶ交通, 日本の交通の特徴, 情報通信の発達, 余暇の拡大と観光産業, 日本の観光とその変化, 世界の貿易と地域間格差, 貿易の自由化と経済連携, 日本の貿易	授業中の関心・意欲・態度
	2		・世界の人口分布について知り、人口問題を考える	・世界の人口, 人口の移動, 世界の人口問題, 日本の人口問題	
	3		・村落と都市の成り立ちについて知り、居住問題や日本の村落・都市の課題について考える	・集落の成り立ち, 村落の形態と機能, 都市の成立と形態・機能, 都市圏の拡大と都市の構造, 発展途上国の都市・居住問題, 先進国の都市・居住問題, 日本の都市・居住問題	ノート提出 学年末考査
<b>その他 (履修上の留意点・大学進学等のための学習など)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年次でも地理探究を履修する。3年次は各地域の地誌を学習した後、入試過去問等の実践問題にも取り組む予定である。</li> <li>・受験に必要であれば2年次から自主的に基礎的な知識・実践問題に取り組むようにしてもらいたい。</li> </ul>					

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
日本史探究	2	2年1類AC型・3類	選択
授業担当者		教科書名	副教材等
****		高校日本史 (山川出版社)	その他授業プリント

### 科目の到達目標

- ① 日本史の基本的事項（原始・古代～中世）を広く学ぶ。
- ② 日本の歴史の大きな枠組みと展開を、資料に基づき地理的条件や世界史と関連づけながら理解する。
- ③ 教科書の暗記のみにとどまらず、各時代を多角的に学ぶことで歴史への関心を高める。
- ④ 日本史の学習を通して、文化の多様性・複合性と、現代世界の特質を広い視野から考察する態度を身につける。

### 評価の観点と方法について

年3回の定期考査の点数を基本として、授業プリントや長期休暇課題等の提出状況、授業に取り組む姿勢等を考慮した平常点を加味し、総合的に評価する。

	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一 学 期	4 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼの	発掘資料、文献に基づき、研究された歴史であることを認識する	日本文化の始まり 農耕の開始	授業中の興味・関心・ 態度
	5 第2章 古墳とヤマト政権	『古事記』『日本書紀』等を参考に大和政権について理解する	古墳文化の展開 飛鳥の朝廷	
	6 第3章 律令国家の形成	律令体制の成立経緯、意義を理解する	律令国家への道 平城京の時代 律令国家の文化 律令国家の変容	
	7 第4章 貴族政治の展開	藤原氏を中心にして、平安時代の政治・文化を理解する	摂関政治 国風文化 荘園の発達と武士団の成長	ノート提出 期末考査

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	中世 第5章 院政と武士の進出	武士が登場し、勢力を拡大していき経緯、意義を理解する	院政の始まり 院政と平氏政権	授業中の興味・関心・ 態度
	10	第6章 武家政権の成立	鎌倉幕府の政治等から日本の中世を理解する	鎌倉幕府の成立と展開 モンゴル襲来と幕府の衰退 鎌倉文化	
	11	第7章 武家社会の成長	建武の新政から、足利義満の統治期までの経緯を理解する 民衆の自治と、戦乱の時代を理解する	室町幕府の成立 下剋上の社会 室町文化 戦国の動乱	
	12				ノート提出 期末考査
三 学 期	1	近世 第8章 近世の幕開け	織田信長、豊臣秀吉の登場による時代の変化を理解する	天下人の登場 豊臣政権と桃山文化	授業中の興味・関心・ 態度
	2				
	3				ノート提出 学年末考査

#### その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

- ・近世・近代（初期）の学習は3年次に行います。
- ・大学受験にも対応できるよう、授業内容や時間配分等配慮します。（必要に応じてプリント教材も使用）
- ・日本史は暗記が欠かせない科目ですが、語句の暗記のみにとどめるのではなく、歴史の流れに関連づけて理解するようにしましょう。

科目名		単位数	指導学年・類・型	必修・選択	
日本史探究		3	2年Ⅱ類文系	必修	
授業担当者	教科書名		副教材等		
****	日本史探究『高校日本史』 (山川出版社)		『高校日本史ノート』(山川出版社) 『詳説日本史図録』(山川出版社) 『日本史一問一答』(山川出版社)		
科目の到達目標					
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを旨とする。					
評価の観点と方法について					
①我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。					
②我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。					
③我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。					
	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一 学 期	4	第1部 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼの 1 文化の始まり 2 農耕の開始  第2章 古墳とヤマト政権 1 古墳文化の展開 2 飛鳥の朝廷	発掘資料、文献に基づき、研究された歴史であることを認識する	旧石器文化・縄文文化の成立と変化、社会、特色 水稲耕作や金属器の伝来が日本列島の社会に与えた影響 「クニ」の形成から邪馬台国などの小国の連合について 弥生文化の特色  中国大陸・朝鮮半島との関係 ヤマト政権の発展や古墳文化 推古朝の政治や飛鳥文化の特色	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度 発表 レポート提出
	5	第3章 律令国家の形成 1 律令国家への道 2 平城京の時代 3 律令国家の文化 4 律令国家の変容	律令体制成立の経緯、意義、大陸、半島との関係を理解する	大化の改新以降の政治過程 律令体制の成立 平城京における政治史の流れ 律令体制の形成と密接に関連する仏教文化の特色 国史などの編纂や仏教美術の展開、仏教の興隆による鎮護国家の思想の誕生	
	6	第4章 貴族政治の展開 1 摂関政治 2 国風文化 3 荘園の発達と武士団の成長	藤原氏を中心にして、平安時代の政治・文化を理解する  武士が登場し、勢力を拡大していく経緯、意義を理解する	摂関政治の特質とその後の展開 中国文化をふまえて国風文化が形成されたこと 浄土信仰が広まった背景 武士団の仕組みや武士の成長	
	7	第5章 院政と武士の進出 1 院政の始まり 2 院政と平氏政権	院政・平氏・鎌倉幕府の政治等から日本の中世を理解する	土地制度の変化 院政期における武士の影響力の拡大や平氏政権の展開、文化が庶民や地方に広まったこと 武家政権の成立	

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	第6章 武家政権の成立 1 鎌倉幕府の成立と展開 2 モンゴル襲来と幕府の衰退	院政・平氏・鎌倉幕府の政治等から日本の中世を理解する	鎌倉幕府と朝廷による二元的支配の構造、執権政治の特質、御家人の特質やその地域支配について モンゴル襲来の際の国際的な背景や国内政治への影響 鎌倉時代の宗教や文化の特徴	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度 発表 レポート提出
	10	3 鎌倉文化  第7章 武家社会の成長 1 室町幕府の成立 2 下剋上の社会 3 室町文化	建武の新政から、足利義満の統治期までの経緯を理解する  民衆の自治と、戦乱の時代を理解する	鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球やアイヌの文化の形成 南北朝の動乱と日本列島の地域社会の変質や、東アジアの国際情勢の変化とその影響 室町文化の特徴	
	11	4 戦国の動乱  第8章 近世の幕開け 1 天下人の登場 2 豊臣政権と桃山文化	織田信長、豊臣秀吉の登場による時代の変化を理解する  江戸幕府が成立する経緯と、徳川家康、秀忠、家光の権力掌握の経緯を理解する	織豊政権の特色や貿易・対外関係 織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響 安土桃山時代の文化が幅広い国際性を持ちつつ、生活文化のなかにとけ込んでいったこと 豊臣政権による朝鮮出兵から、対アジア認識を含め一連の政策のもたらした影響	
	12				
三 学 期	1	第9章 幕藩体制の成立と展開 1 江戸幕府の成立 2 江戸初期の外交と文化 3 幕政の安定 4 経済の発展 5 元禄文化	江戸幕府の支配が確固たるものになる経緯を理解する  江戸時代中期における政治・経済・文化を理解する	江戸時代の社会の構造 桃山文化を受け継ぎながらも新しい武家社会の到来を示す寛永期の文化が成立したこと  江戸幕府の鎖国政策 文治政治への転換から元禄時代・正徳の政治に至る推移について 都市の発達と文化の担い手との関係 17世紀の文化の特徴	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度 発表 レポート提出
	2				
	3	第10章 幕藩体制の動揺 1 幕政の改革と宝暦・天明期の文化 2 江戸幕府の衰退 3 化政文化	江戸幕府の支配が揺らいでいく経緯を理解する  江戸時代後期の政治・経済・文化について理解する	産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化 幕藩体制の変容や宝暦・天明期の文化の特色	
<p>その他(履修上の留意点・大学進学等のための学習など)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生でも引き続き「日本史探究」の選択履修をすることができる。</li> <li>・大学受験にも対応できるように、授業内容や時間配分等の配慮をする。(3年次には問題演習等も行う)</li> <li>・日本史は暗記が欠かせない科目だが、語句の暗記のみにとどめるのではなく、歴史の流れに関連づけて理解するよう努める。</li> </ul>					

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
世界史探究	2	2年1類(A・Cコース)・3類	選択
授業担当者		教科書名	副教材等
****		世界史探究 (東京書籍)	最新世界史図説タペストリー (帝国書院)

### 科目の到達目標

- ・世界の歴史の大きな枠組みと展開を、諸資料に基づき地理的条件や日本史等と関連付けながら理解する。
- ・世界史の学習を通して文化の多様性・複合性について理解を深め、現代世界を広い視野から考察する態度を身につける。

### 評価の観点と方法について

期末考査の点数を基準として、授業ノートやプリント・レポート、長期休暇課題等の提出状況を考慮し、三観点(知識・技能、思考・判断・表現、主体性)から評価する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一 学 期	4	序章 世界史へのまなざし 第1編 諸地域の歴史的特質 第1章 古代文明の出現	文明がどのように誕生したのか、人類の進化や道具の発達などから考察する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球と人類の誕生</li> <li>・古代オリエントとエーゲ海地域</li> <li>・南アジアの古代文明</li> <li>・東アジアにめばえた文明</li> </ul>	
	5	第2章 西アジアと地中海周辺	西アジア、地中海世界においてそれぞれの自然環境に適応した独自の地域世界が形成される過程と、その特色について学習する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古代オリエントの統一</li> <li>・古代ギリシアとヘレニズム世界</li> <li>・ローマ帝国と地中海世界</li> <li>・古代末期の社会と地中海世界の解体</li> <li>・地中海世界とアジア</li> </ul>	
	6	第3章 南アジア	南アジアの気候・地形・風土から、その国家形成に至る過程について学習する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南アジアにおける国家形成</li> <li>・インド世界の形成</li> </ul>	
		第4章 東南アジア	東南アジア地域の気候・地形から、この地域の発達について学習する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海の道の形成と東南アジア</li> <li>・東南アジア諸国家の再編成</li> </ul>	
	7	第5章 東アジアと中央ユーラシア	隋唐を中心とした中国での帝国形成過程と遊牧民の文化形成および周辺国家との関係について学習する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古代帝国の誕生</li> <li>・中国の分裂と多様化</li> <li>・隋唐帝国と東アジア</li> <li>・草原地帯のトルコ化とイスラーム化</li> </ul>	レポート提出 ノート提出 期末考査

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	第2編 諸地域の交流と再編 第7章 イスラーム世界 の拡大と繁栄	イスラムとは何か、その内容と布教、 イスラーム国家形成の過程について 学習する	・イスラーム世界の発展 ・イスラーム文明	夏期課題提出
	10	第8章 中世ヨーロッパ	キリスト教権威とそれに基づいて成 立した中世の社会、さらにはその崩 壊と近代国家への“めばえ”につい ても学習する	・中世ヨーロッパ社会の展開 ・中世西ヨーロッパ社会の成熟 ・中世西ヨーロッパ社会の文化 ・ルネサンス	
	11	第9章 中華世界の変 容とモンゴル帝国  第10章 インド洋海域 世界の発展と東南アジ ア	漢民族と周辺民族との抗争、および その興亡について学習する  インドのイスラーム化と東南アジア 諸国の交易について学習する	・唐の崩壊後の東アジア ・宋代の新展開 ・モンゴル帝国 ・元の成立  ・イスラームのインド洋海域への浸透 ・海と陸の結合—東南アジア世界の発展	レポート提出 ノート提出 期末考査
	12	第11章 大交易時代と 世界の一体化	“大航海時代”と言われる時代の背 景、およびアジアへの到達がもたら した影響について学習する	・アジア交易圏の再編と活況 ・ポルトガルのアジア進出 ・明と日本・朝鮮の動向 ・一体化に向かう世界 ・大交易時代の世界	
三 学 期	1	第12章 ユーラシア諸 帝国の繁栄	中央アジアおよび西アジアに建設さ れた遊牧民国家について学習する	・中央アジアと西アジアの繁栄 ・インドの大国—ムガル帝国 ・清と東アジア	ノート提出 期末考査
	2	第13章 主権国家体制 の形成と地球規模での 交易の拡大	ヨーロッパにおける近代国家の形成 過程と世界各地への侵略、植民地政 策とその影響について学習する	・主権国家群の形成と宗教改革 ・オランダの繁栄と英仏の国家形成 ・商業覇権と植民地建設 ・啓蒙専制国家の発展 ・近世ヨーロッパの社会と文化	
	3				
<p>その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近代・現代の学習は3年次の選択で履修。</li> <li>・共通テスト等の受験については、個別に対応する。</li> </ul>					